



無断転載・引用禁止
무단 전재 및 인용 금지

<https://isks.org> isksj@isks.org

国際高麗学会日本支部 第27回学術大会

국제고려학회 일본지부 제27회 학술대회

10:00 自由論題発表/자유논문발표
ホール -第1分科/제1분과
大セミナー室 -第2分科/제2분과
小セミナー室 -第3分科/제3분과

12:30 大セミナー室 国際高麗学会日本支部総会/국제고려학회 일본지부 총회

13:00 ホール シンポジウム アーカイブの中の「在日」
심포지엄 아카이브 속 「자이니차」

2023. **6.10** Sat

Hybrid
Conference

大阪公立大学 梅田サテライト
Online - ZOOM



日韓同時通訳
한일동시통역

共催: 国際高麗学会日本支部/立命館大学コリア研究センター 公催: 국제고려학회 일본지부/리츠메이칸대학 코리아연구센터

目次

プログラム 프로그램	1
シンポジウム「アーカイブの中の『在日』」 심포지엄「아카이브 속『자이니치』」	
- 趣旨文 취지문	2
- 発題者 발제자	3
- 発題者プロフィール 발제자 프로필	4
シンポジウム 発表資料 심포지엄 발표 자료	
李成市 이성시 【在日韓人歴史資料館 재일한인역사자료관】	6
伊地知紀子 이지치 노리코 「場所の記憶が未来の光源となる—大阪コリアタウン歴史資料館の試み—」 【大阪コリアタウン歴史資料館 오사카 코리아타운 역사자료관】	12 14
金哲秀 김철수 「朝鮮大学校朝鮮問題研究センター付属 在日朝鮮人関係資料室の所蔵資料について」 【朝鮮大学校朝鮮問題研究センター付属在日朝鮮人関係資料室 조선대학교 조선문제연구센터 부속 재일조선인관계자료실】	20 29
全ウンフィ/孫片田晶 전은희/손 가타다 아키 「出会いの場を残し、発信する—ウトロ平和祈念館」 【ウトロ平和祈念館 우트로 평화기념관】	34 38
【青巖大學校 在日コリアン研究所 청암대학교 재일코리안연구소】	48
自由論題発表資料 자유 논제 발표 자료	51
「地域の視点から民闘連運動を捉えなおす：—地域の視点から」 鄭榮鎮	52
「1968年前後のフォーク・ソングの「民衆」における朝鮮の欠落と排除」 孫長熙	54
「関東大震災時の朝鮮人虐殺の記憶はなぜ継承されたか —1980年代の日本における市民運動を中心に」 韓光勲	62
「徴用工裁判から見えるもの—歴史認識の壁は乗り越えられるか」 文光喜	73
「文化横断研究の観点からみる文化と民族の関係性について ：日本の剣道を修行する在日朝鮮人の事例からの考察」 金希妍	82
「朝鮮王朝版 明朝体活字の誕生(1684-1884)」 劉賢国	86

国際高麗学会日本支部 第27回学術大会 プログラム

국제고려학회 일본지부 제27회 학술대회 프로그램

10:00 自由論題発表 자유 논제 발표

▶ 第1部会

ホール



- 10:00 「地域の視点から民闘連運動を捉えなおす：草創期に焦点を合わせて」
|加藤恵美(帝京大学)
- 10:30 「地域の視点から民闘連運動を捉えなおす：—地域の視点から」
|鄭榮鎮(大阪公立大学)
- 11:00 「1970年代アジア反経済成長運動と在日朝鮮人の第三世界主義」
|Chris H. Park (Hitotsubashi University)

▶ 第2部会

大セミナー室



- 10:00 「植民地支配期以降の朝鮮半島からの「密航」研究の展望」
|苅部真也(東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻)
- 10:30 「1968年前後のフォーク・ソングの「民衆」における朝鮮の欠落と排除」
|孫長熙(大阪大学)
- 11:00 「関東大震災時の朝鮮人虐殺の記憶はなぜ継承されたか
—1980年代の日本における市民運動を中心に」
|韓光勲(大阪公立大学大学院文学研究科、
日本学術振興会特別研究員)
- 11:30 「徴用工裁判から見えるもの—歴史認識の壁は乗り越えられるか」
|文光喜(愛知朝鮮学園)

▶ 第3部会

小セミナー室



- 10:00 「学習者の多様な言語・文化を可視化する試み」
|李鉉淑(コリア国際学園)
- 10:30 「文化横断研究の観点からみる文化と民族の関係性について
：日本の剣道を修行する在日朝鮮人の事例からの考察」
|金希妍(東京大学大学院総合文化研究科)
- 11:00 「朝鮮王朝版 明朝体活字の誕生(1684-1884)」
|劉賢国(筑波技術大学)

12:30 国際高麗学会 日本支部 総会 국제고려학회 일본지부 총회

大セミナー室

13:00 シンポジウム「アーカイブの中の『在日』」
심포지엄 「아카이브 속『자이니치』」

ホール



SYMPOSIUM

アーカイブの中の「在日」

아카이브 속 「자이니치」

最近、ドラマ『パチンコ』にみられるようにアメリカで発信する在日コリアンが話題になり、英語圏のなかで在日コリアンの研究が広がっている。それに先立って、日本国内や韓国の多数の地域で在日コリアン資料館が開設されている。

現在、日本国内には在日コリアンに関する資料館が各地に存在する。2005年に在日韓人歴史資料館、2006年に渡来人歴史館、2022年にウトロ平和祈念館が開館し、2023年には大阪コリアタウン歴史資料館が開館した。

また、大学内に設置された研究機関および資料室として、日本では朝鮮大学校に在日朝鮮人関係資料室(2012年)、大阪市立大学に大阪コリアン研究プラットフォーム(2020年)、韓国では済州大学校に在日済州人センター(2011年)、青巖大学校には在日コリアン研究所(2013年)が開設されている。

これらの在日コリアンに関する資料館はすべて2000年代に入って開設されている。在日コリアンの歴史を、植民地時期を起点とするならば、おおよそ1世紀が過ぎたこの時期になぜ、開設に至ったのか、また、何を設立の目的とし、どのような内容を素材として収集し、分類・選定して展示し、何を見せようとしているのか、その過程を公開し、公論化する。これらの問いを相互に検証することで、アーカイブの中の「在日」の位置づけを多角的に検討し、在日コリアンの歴史・記憶・文化・ナラティブの次世代への継承可能性について展望したい。

日本・韓国の計5つの資料館・記念館から、各館の設立目的や活動成果、現状などの報告を受け、その経験を共有し、今後のあり様を共に模索する。

최근 드라마 『파친코』와 같이 미국에서 비춰지는 재일코리안이 화제가 되면서 영어권에서 재일코리안 연구가 확대되고 있다. 이에 앞서, 일본 국내 및 한국 다수 지역에서 재일코리안 자료관이 개설되는 중이다.

현재 일본 국내에는 재일 코리안 관련 자료관이 각지에 존재한다. 2005년에 제일한인 역사자료관, 2006년대에 도래인역사관, 2022년에 우토로평화기념관이 개관되었으며, 2023년에는 오사카 코리아타운 역사자료관이 개관하였다.

또한, 대학 내 자료실로서 조선대학교(일본)에 제일조선인 관계자료실(2012년), 오사카 공립대학에 오사카 코리안연구 플랫폼(2020년), 한국 소재 대학으로는 제주대학교 재일 제주인센터(2011년), 청암대학교 재일코리안 연구소(2013년)가 개설되었다.

이러한 재일코리안 관련 자료관은 모두 2000년대 이후에 만들어졌다. 재일코리안의 역사를 식민지 시기를 기점으로 잡아 대략 1세기가 경과한 이 시기에, 이들은 어떤 이유로 개설에 이르렀을까? 또 어떤 목적을 가지고 설립되어, 어떤 내용을 수집 및 분류, 선정하여 전시했으며, 무엇을 나타내고자 했을까? 그 과정을 공개하여 공론화할 것이다. 이러한 물음들을 상호 검증함으로써 아카이브 속 『자이니치』가 갖는 위치를 다각적으로 검토하고 재일코리안의 역사, 기억, 문화, 내러티브의 다음 세대로의 계승 가능성에 관해 전망하고자 한다.

일본 및 한국 5곳 자료관, 기념관에서 그 설립 목적 및 활동 성과, 현황 등을 발표하고 그 경험을 공유하며 향후 자료관의 향방을 함께 모색할 것이다.

発表者

李成市

在日韓人歴史資料館 館長
早稲田大学 前教授

伊地知 紀子

大阪コリアタウン歴史資料館 副館長、
大阪公立大学 教授、国際高麗学会日本支部 会長

金哲秀

朝鮮大学校 朝鮮問題研究センター長、教授

全 ウンフィ

ウトロ平和祈念館 展示運営部会、
大阪公立大学大学院 文学研究科都市文化研究
センター 研究員

孫 片田 晶

ウトロ平和祈念館 展示運営部会
立命館大学 准教授

討論

金仁徳

韓国・青巖大學校 在日コリアン研究所 所長、教授

朴 一

大阪市立大学 名誉教授

司会

金友子 | 立命館大学 准教授

발표자

이성시

제일한인역사자료관 관장,
와세다대학 전 교수

이지치 노리코

오사카 코리아타운 역사자료관 부관장,
오사카공립대학 교수, 국제고려학회 일본지부 회장

김철수

조선대학교 조선문제연구센터장, 교수

전은희

우토로 평화기념관 전시운영부회,
오사카공립대학 대학원 문학연구과 도시문화
연구센터 연구원

손가타다 아키

우토로 평화기념관 전시운영부회,
리츠메이칸대학 조교수

토론

김인덕

한국 청암대학교 재일 코리안 연구소 소장, 교수

박일

오사카시립대학 명예교수

사회

김우자 | 리츠메이칸대학 조교수





李成市 い・そんし

1952年、名古屋生まれ。朝鮮史・東アジア史専攻。早稲田大学第一文学部卒業、早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。早稲田大学前教授。著書に『東アジアの王権と交易-正倉院の宝物が来たもうひとつの道』(青木書店、1997年)、『古代東アジアの民族と国家』(岩波書店、1998年)、『 만들어진 고대—근대 국민 국가의 동아시아 이야기』(삼인출판, 서울, 2001년)、『鬭争の場としての古代史—東アジア史のゆくえ』(岩波書店、2018年、三仁出版、ソウル、2019年)。など。共編著として『植民地近代の視座』(岩波書店、2004年)、『世界史体系 朝鮮史』(1, 2 山川出版社、2017年)、『東アジアのなかの二八独立宣言-若者たちの出会いと夢』(明石書店、2020年)などがある。



伊地知 紀子 いちち・のりこ

1966年生。大阪市立大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、博士(文学)。大阪公立大学大学院文学研究科教員。国際高麗学会本部事務次長・日本支部会長。大阪コリアタウン歴史資料館副館長。専門は朝鮮地域研究、生活世界の社会学、文化人類学。著書に『和解をめぐる市民運動の取り組み—その意義と課題』(明石書店、2022, 共著)、『阪神都市圏の研究』(ナカニシヤ出版、2022, 共著)、『街場の日韓論』(晶文社、2020, 共著)、『消されたマッコリ。—朝鮮・家醸酒(カヤンジュ)文化を今に受け継ぐ』(社会評論社、2015, 単著)、Rethinking Representations of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life, (New York : Palgrave, 2015, 共編著)、『日本人学者が 本 제주인의 삶』(済州大学校耽羅文化研究所、2013, 単著)等。



金哲秀 きむ・ちよるす

1965年生。朝鮮大学校政治経済学部教員を経て、現在、朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長。2012年7月に開催された在日朝鮮人関係資料室開設記念シンポジウム「在日朝鮮人関係資料収集保存の現状と課題」で在日朝鮮人関係資料室の所蔵資料について報告。以来、在日朝鮮人関係室長として在日朝鮮人関係の資料収集と保存につとめる。専門は在日朝鮮人問題、朝鮮人強制連行問題。



孫片田 晶 そん かただ・あき

大阪生まれ・育ち。ダブル・日本籍の在日朝鮮人3世。立命館大学産業社会学部准教授。ウトロ平和祈念館展示運営部会。社会学(人種・エスニシティ研究、多文化教育)。学生時代の「在日韓国学生同盟」の活動がきっかけになりウトロや東九条での活動に関わっている。主要論文として「1960年代の日教組教研の在日朝鮮人教育論—『在日朝鮮人教育』の変容」『社会学評論』第67巻3号(2017年)。「『差別』に挑む子ども、『同化』を問題にする教師—『多文化共生』論への接続に向けた在日朝鮮人教育言説の再読」『フォーラム現代社会学』第17号(2018年)がある。



全ウンファイ じょん・うんふい

韓国生まれ・育ち、大学院から留学。大阪公立大学大学院文学研究科都市文化研究センター研究員。ウトロ平和祈念館展示運営部会。主要論文は「宇治市A地区にみる高度成長期以降の「不法占拠」の存続要因」(『都市文化研究』23号 2021);「地続きの朝鮮に出会う—ウトロ地区と向き合った京都府南部地域の市民運動の軌跡」(大野光明編『越境と連帯 社会運動史研究4』新曜社 2022)ほか。



金仁徳 きむ・いんどく

1962年生まれ。成均館大学校文学博士。順天市・青巖大学校在日コリアン研究所所長。看護学科教授として在日コリアンの歴史を研究。著書として『韓国現代史と博物館』(国学資料院、2018)、『大阪在日朝鮮人の歴史と日常』(ソニン出版社、2020)、『葛藤と和合の在日コリアン団体の歴史』(ソニン出版社、2021)等がある。論文は「在日朝鮮人史研究の先駆者 朴慶植」(『近現代知識人と韓日歴史和解』、東北亜歴史財団、2021)、「歴史の中の在日朝鮮人医療と福祉の限界」(『韓日民族問題研究』(40)、2021. 06)などがある。



朴一 ぱく・いる

大阪市立大学名誉教授。同志社大学大学院博士課程修了(商学博士)。専攻はアジア経済論、コリア地域研究。大阪市、神戸市、堺市、伊丹市、尼崎市などで審議会委員として外国籍住民施策の策定に参加。国会参議院国際問題調査会参考人(2005年)。現代韓国朝鮮学会理事。在日韓人歴史資料館理事。大阪コリアタウン歴史資料館理事。主な著書に、『僕たちのヒーローはみんな在日だった』(講談社)、『在日マネー戦争』(講談社)、『<在日>という生き方』(講談社)他多数。

이성시

1952년, 나고야시 출생. 조선사·동아시아사 전공. 와세다 대학 제1 문학부 졸업, 와세다 대학 대학원 문학연구과 박사과정 수료. 박사(문학). 와세다 대학 전 교수. 저서로는 『東アジアの王権と交易-正倉院の宝物が来たもうひとつの道』(青木書店、1997년)、『古代東アジアの民族と国家』(岩波書店、1998년)、『 만들어진 고대—근대 국민 국가의 동아시아 이야기』(삼인출판, 서울, 2001년)、『鬭争の場としての古代史—東アジア史のゆくえ』(岩波書店、2018년)、『삼인출판, 서울, 2019년』 등이 있다. 공저로는 『植民地近代의 視座』(岩波書店、2004년)、『世界史体系 朝鮮史』(1, 2 山川出版社、2017년)、『東アジア의 なか의 二八獨立宣言-若者たちの 出会いと夢』(明石書店、2020년) 등이 있다.

이지치 노리코

1966년생. 오사카시립대학 대학원 문학연구과 박사과정 단위취득퇴학, 박사(문학). 오사카공립대학 대학원 문학연구과 교원. 국제고려학회 본부 사무차장·일본 지부 회장. 오사카 코리아타운 역사자료관 부관장. 전문은 조선 지역 연구, 생활세계의 사회학, 문화인류학. 저서로는 『和解をめぐる市民運動の取り組み—その意義と課題』(明石書店、2022, 공저)、『阪神都市圏の研究』(ナカニシヤ出版、2022, 공저)、『街場の日韓論』(晶文社、2020, 공저)、『消されたマッコリ。—朝鮮・家醸酒(가양주)文化を今に受け継ぐ』(社会評論社、2015, 단저)、Rethinking Representations of Asian Women: Changes, Continuity, and Everyday Life, (New York : Palgrave, 2015, 공편저)、『日本人学者가 본 제주인의 삶』(제주대학교 탐라문화연구원, 2013년, 단행본 저서) 등이 있다.

김철수

1965년생. 조선대학교 정치경제학부 교원을 거쳐 현재 조선대학교 조선문제연구센터장으로 재직 중. 2012년 7월에 개최된 제일조선인 관계자료실 개설 기념 심포지엄 「재일조선인 관계자료 수집 보존의 현황과 과제」에서 재일조선인 관계자료실 소장 자료에 대해 보고했으며, 그 이후로 재일조선인 관계실장으로서 재일조선인 관계 자료 수집과 보존에 힘쓰고 있다. 전문은 재일조선인 문제, 조선인 강제연행 문제이다.

손 가타다 아키

오사카에서 태어나 자랐다. 더블·일본 국적의 재일조선인 3세. 리츠메이칸 대학 산업사회학부 조교수. 우토로 평화기념관 전시운영부회. 사회학(인종·민족 연구, 다문화 교육)을 전공. 학생 시절에 「재일한국학생동맹」의 활동을 계기로 우토로나 히가시쿠조에서의 활동에 관여하고 있다. 주요 논문으로는 「1960年代の日教組教研の在日朝鮮人教育論—『在日朝鮮人教育』の変容」『社会学評論』第67巻3号(2017년)、「『差別』に挑む子ども、『同化』を問題にする教師—『多文化共生』論への接続に向けた在日朝鮮人教育言説の再読」『フォーラム現代社会学』第17号(2018년) 등이 있다.

전 은 휘

한국에서 태어나 자랐으며 대학원에서 유학했다. 오사카공립대학 대학원 문학연구과 도시문화연구센터 연구원. 우토로 평화기념관 전시운영부회. 주요 논문으로는 「宇治市A地区にみる高度成長期以降の「不法占拠」の存続要因」(『都市文化研究』23号, 2021년); 「地続きの朝鮮に出会う—ウトロ地区と向き合った京都府南部地域の市民運動の軌跡」(大野光明編『越境と連帯 社会運動史研究4』新曜社, 2022년) 등이 있다.

김인덕

1962년 출생으로 성균관대학교 문학박사이다. 순천에 있는 청암대학교 재일코리안연구소 소장, 간호학과 교수로 재일코리안인의 역사를 연구하고 있다. 저서로는 『한국현대사와 박물관』(국학자료원, 2018), 『오사카 재일조선인의 역사와 일상』(선인출판사, 2020), 『갈등과 화합의 재일코리안 단체의 역사』(선인출판사, 2021) 등이 있다. 논문으로는 「재일조선인사 연구의 선구자 박경식」(『근현대 지식인과 한일 역사화해』, 동북아 역사재단, 2021), 「역사 속 재일조선인 의료와 복지의 한계」(『한일민족문제연구』(40), 2021. 06) 등이 있다.

박 일

오사카시립대학 명예교수. 도시사대학 대학원 박사과정 수료(상학박사). 전공은 아시아 경제론, 코리아지역연구. 오사카시, 고베시, 사카이시, 이타미시, 아미가사키시 등에서 심의회 위원으로 외국인 주민 정책 수립에 참여. 국회 참의원 국제문제조사회 참고인(2005년). 현대한국조선학회 이사. 재일한인 역사자료관 이사. 오사카 코리아타운 역사자료관 이사. 주요 저서로는 『僕たちのヒーローはみんな在日だった』(講談社)、『在日マネー戦争』(講談社)、『<在日>という生き方』(講談社) 등 다수.